

特別支援推進委員会 ニュースレター

今年度も特別支援にかかわる研修会などの活動を行っています！！

お久しぶりです。特別支援教育推進委員会です。昨年度末から、私たちの活動をお知らせいたしたく、お手紙をお届けしています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

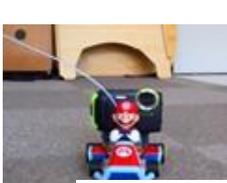
さて、今年度も宮城県教育委員会の外部専門家活用事業は継続されています。県内の県立特別支援学校に作業療法士だけでなく、言語聴覚士、理学療法士、スクールソーシャルワーカーなど様々な職種の専門家が派遣され、活動を行っています。

士会員の皆様には、支援学校での活動の様子をできる範囲で紹介します。さらに本委員会の活動を知っていただき、子どもの領域にも関心を持っていただければと思っています。

特別支援学校で先生と協同！

特別支援学校で先生と一緒に考えた支援の一例を紹介します。対象児は重度脳性麻痺で、寝返りをすることもできません。筋緊張やてんかん発作などの関係から学校でも半分はベット上に寝ている状態です。動けるのは反り返りと頸部の回旋と手を握ることだけです。それを利用して「自分で動かす(変化を楽しむ)」経験をしてもらおうと先生と考えて完成したのが下の写真です。

①マリオのラジコンにBluetooth機能の付いたデジカメを乗せます。②コントローラーに本人が使えるスイッチを取り付けます(iPadにラジコンからの画像を映し本児に見えるようにしてあります)。③本児が手を握るとラジコンが進み色々な所の景色を見ることができます。本児に合わせ、市販の毛抜きに部品を取り付け、先生が手作りしたものです。コントローラーの改良も先生がしました。これを使えば、ただ景色が変わるのを楽しむだけでなく、別なスイッチを使ってiPadで写真を撮り、スライドショーにし、思い出アルバムを作成することもできます。OTはアイデアを出しましたが、ほとんどは先生が形にしてくれました。本児の持つ機能をどう利用すれば現状にあった学習や遊びに繋げることができるのか先生と話し合ったことが活かされています。こうして形になっていくのは本当にOTとして楽しいと思える瞬間です。



①



②



③

研修会を開催しました
8月5日(土) 仙台市戦災復興
会館で、東京都士会子ども委員
会委員長の伊藤祐子先生を講
師にお招きし、午前中は他職種
に参加していただき「あそびを
活かした発達支援」、午後はO
Tのみの参加者で「東京都作業
療法士会の取り組み」について
お話しいただきました。



事例を通して、参加者の皆様と評価の視点、治療を考える会を企画しています！はじめての方もすぐに、こどもの支援ができるようになります。ご参加お待ちしております。

【今後の活動予定】

- ・人材育成プログラム研修会 10/28(土) 午後 こどもの評価 東北文化学園大学
- 12/16(土) 午後 こどもの支援・治療 青年文化センター